施工説明書

ホース収納式シングルレバー洗髪シャワー混合水栓

SF-500S型

工事店様へのお願い

貴店名ならびに据付引渡し日を保証書にご記入の上、お客さまに必ずお渡しください。また、定期的に交換が必要な部品があることをお客様に必ずお伝えください。

商品の機能が100%発揮されるよう、本説明書の内容を十分ご理解のうえ正しく施工してください。
なお施工完了後、この施工説明書を同梱の「取扱説明書の袋」に入れてお客様にお渡しください。

1.施工の前に

安全上のご注意

●施工前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
●ここに示した注意事項は状況によって重大な結果に結びつく可能性があります。
●いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
●施工完了後、正常に作動することを確認してください。お客様に引き渡すときは、取扱説明書にそって使用方法、お手入れの仕方を説明してください。
●この施工説明書は、取扱説明書と共にお客さまで保管いただくように依頼してください。

用語および記号の説明

注意 …「取扱を誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物理的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。」

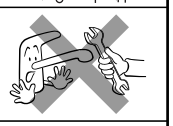
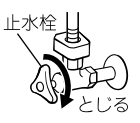
⚠ …「注意しなさい!」(上記の『注意』と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。

…「してはいけません!」(一般的な禁止記号です。)

…「分解してはいけません!」

…「指示通りにしなさい!」

⚠ 注 意

(禁止)	**湯水を逆に配管しないでください。** ※水を出そうとしても、湯が出てやけどをする恐れがあります。	
(禁止)	**給湯器の給湯温度設定は85℃以下でご使用ください。** ※水栓が破損し、ヤケドや家財を濡らす恐れがあります。	
(禁止)	**衝撃を与えたり、もたれかかったりしないでください。** ※破損してケガをしたり、漏水や故障の原因となります。	
(禁止)	**【寒冷地用の場合】水抜栓は水抜き以外の目的で開けないでください。** ※湯水が噴き出し、ヤケドや家財等を濡らす恐れがあります。	
(分解禁止)	**修理技術者以外の人は水栓を分解したり、修理したりしないでください。** ※ケガをしたり、故障・破損の恐れがあります。	
(指示)	**お客さまに引き渡す前に凍結が予想される場合は水を抜いておいてください。** **寒冷地仕様の水抜方法は、取扱説明書を参照ください。** ※凍結破損で漏水し、家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。	
(指示)	**ヤケドの恐れがないことろまで水圧変動を押さえた配管設備にしてください。** ※他所の水栓の使用などにより水圧変動が起こり、湯の使用中に湯温が急上昇し、ヤケドをする恐れがあります。	
(指示)	**フレキホースの差し直しをする際は、必ず湯側水側の両方の止水栓を閉じてから行ってください。** ※湯・水が噴出してヤケドをしたり、家財などを濡らす財産損害発生の恐れがあります。	

本製品の仕様と使用条件

給湯温度設定	85℃以下	使用可能水質	水道水および飲料可能な井戸水
使用環境温度	【一般地用】 0～40℃ 【寒冷地用】 −20～40℃	但し、内部の水を凍結させないでください。	
給水給湯接続	Rp1／2		
圧力条件	0.05MPa(流動圧)～0.75MPa(静水圧) 給水圧力≧給湯圧力		
取付条件	水栓取付穴 吐水口側：φ34～φ40mm ハンドル側：φ34～φ38mm	カウンター厚：5～20mm	

ガス給湯器(比例式制御式：16号相当)と組み合わせる場合の給水圧力

最低必要圧力	A+0.06MPa(流動圧)
最高圧力	0.75MPa(静水圧)

※Aはガス給湯器の最低作動圧力です。
測定条件は次の通りです。
●レバーハンドルは全開です。
●給水温度5℃、吐出温度42℃(ガス給湯器との組み合わせが最も悪い冬期を想定)
●給水圧力はガス給湯器直前における圧力です。
●ガス給湯器の設定温度は最高温度です。

貯湯式給湯器と組み合わせる場合の給水圧力

最低必要圧力	0.05MPa(流動圧)
最高圧力	0.75MPa(静水圧)

●給水圧力と給湯圧力の差を小さくしてください。温度調節が容易になり使いやすくなります。

その他の条件

●給水圧力が0.75MPaを超える場合は、市販の減圧弁で適正圧力(0.20～0.34MPa)に減圧してください。
●給湯器に蒸気は使用できません。
●給湯温度は使用する最高温度より約10℃高く設定してください。
●不意の出湯によるヤケド防止のため、**給湯器の設定温度は60℃以下**をおすすめします。

施工前のご注意

取付に必要な工具

●取付にはプラスドライバー、スパナ(対辺23)、プライヤー、専用工具「KG-9（対辺38）」が必要です。

止水栓と点検口を設けてください。

●取付後の流量調節及び保守点検のために、必ず止水栓(別売)と点検口を設けてください。
●使い勝手や性能発揮のために**流量調節をしてください。**特に水圧が高い場合など、流量調節がされていないと漏水・破損の恐れがあります。

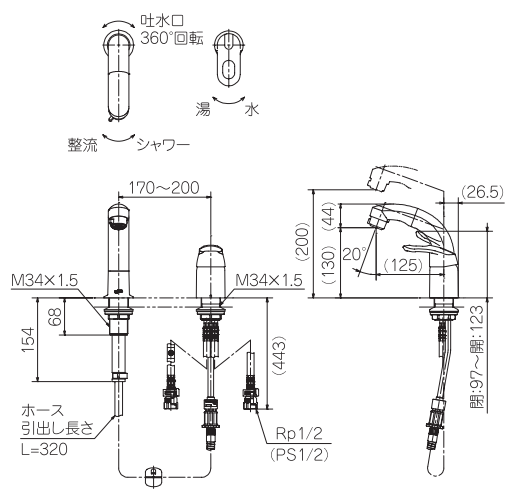
その他の注意点

●給水は、上水道に接続してください。
※温泉水など異物を多く含む水には、使用できません。
●給水配管が右側、給湯配管が左側に配管されていることを確認してください。
※逆配管では表示通りに湯が出ません。
●給湯配管はできるだけ短くし、必ず保温材を巻いてください。
●商品の表面には、直接工具を掛けないでください。
※工具を掛ける場合には、必ず商品に布等をあてて保護してください。
●開梱・取付けの際には、商品の表面に傷をつけないように十分に注意してください。
●必ず**配管中の異物を完全に洗い流してください。**
●取付カウンターが厚い場合や、大理石などの特殊な材料を使っている場合は取り付けできない場合があります。また穴あけなどの加工は十分注意して行ってください。

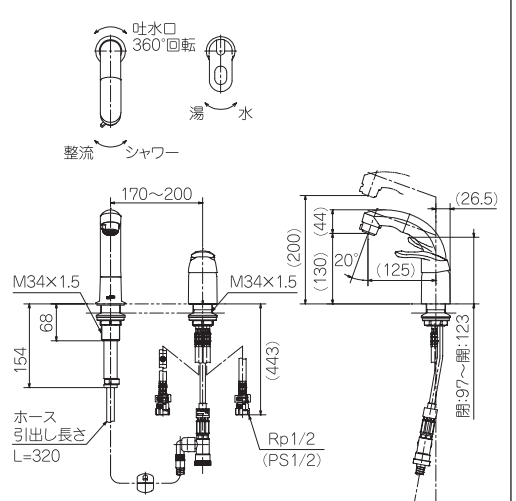
施工完了図

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

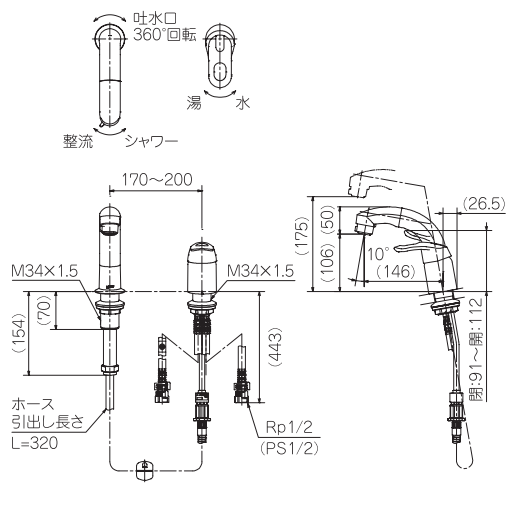
SF-500S 型(一般地用)(0°傾斜取付時)



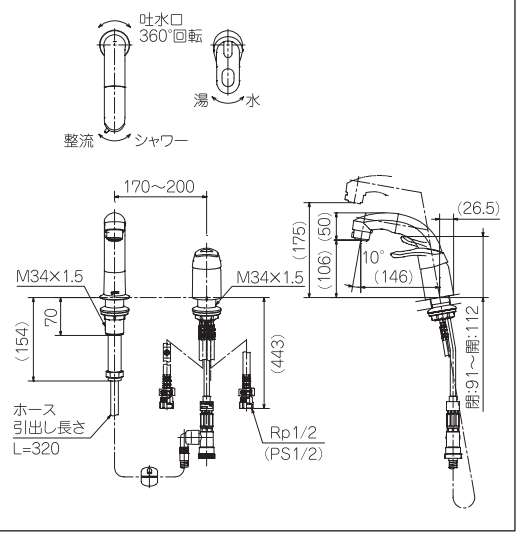
SF-500S 型(寒冷地用)(0°傾斜取付時)



SF-500S 型(一般地用)(10°傾斜取付時)



SF-500S 型(寒冷地用)(10°傾斜取付時)



※取付穴：吐水口側 φ34～φ40mm、ハンドル側 φ34～φ38mm
カウンター厚：5～20mm

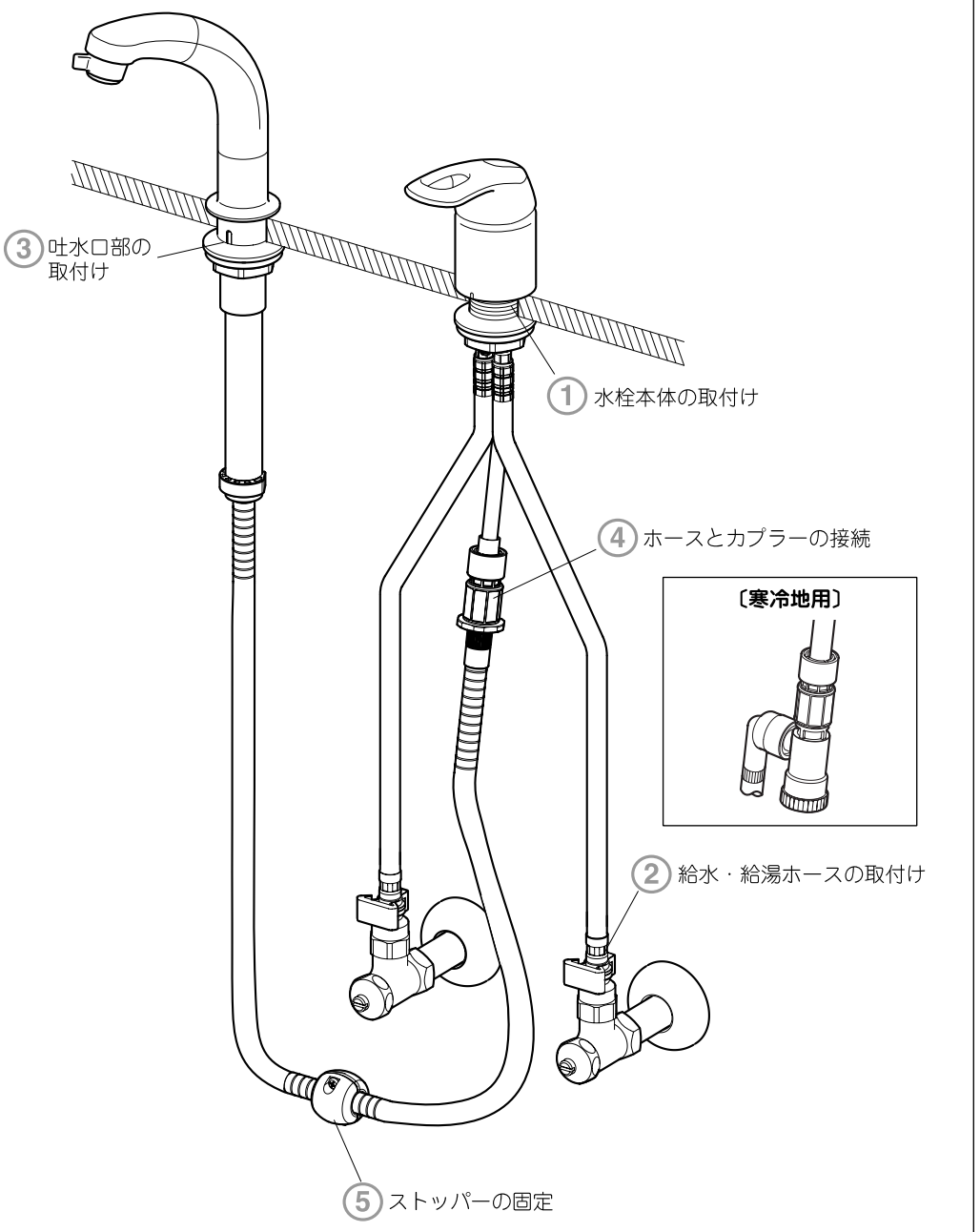
株式会社INAX

●商品・施工方法についてのお問い合わせ
お客さま相談センター　商品相談窓口
ナビダイヤル **TEL 0570−017173**

受付時間　平日　9:00～19:00
土日･祝日　10:00～18:00
（年末年始･夏期休暇は除く）

※ナビダイヤルは、PHS・IP電話などからはご利用できません。
TEL 0562-31-0793をご利用ください。

施工手順



2. 施工方法

以下の手順の通り、正しく取り付けてください。

① 水栓本体の取付け

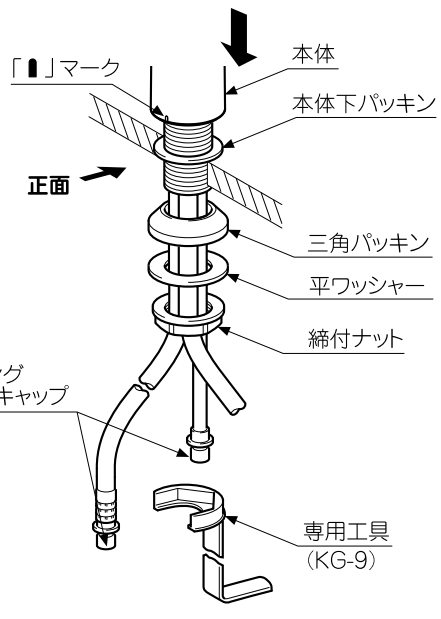
水栓本体を、取付穴の上から挿入し、「 ▮ 」マークが正面になるように取り付ける。

注 意

- **Oリング保護キャップは、カプラーやソケットと接続するまで外さないでください。**
  ※取り外すと、Oリングが傷ついてしまい、漏水の原因となります。
- **締付ナットは、本体のガタつきがないようにしっかりと締め付けてください。**
  ※ガタつきがあると、漏水の原因となります。

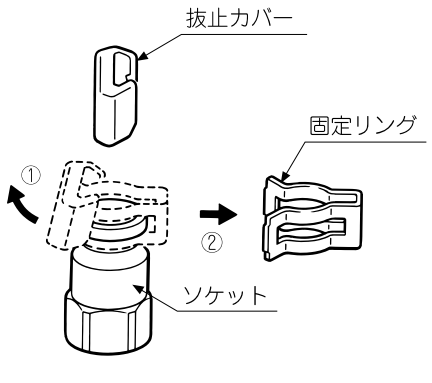
ポイント

別売の専用工具（KG-9）を使用する。



② 給水・給湯ホースの取付け

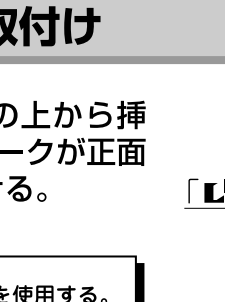
1. ソケットの抜止カバーと固定リングを外す。

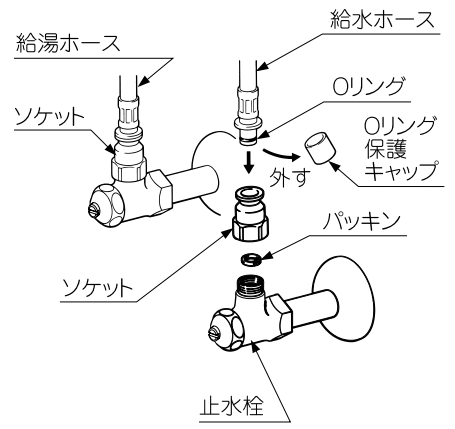


2. ソケットを止水栓に固定し、ソケットに給水・給湯ホースを差し込む。

注 意

- **ソケットの中にパッキンが入っていることを確認してください。**
- **Oリングを傷つけたり、ゴミかみしないようにしてください。**
- **給水・給湯ホースを差し込むときは、無理に曲げないようにしてください。**
  ※注意しないと、漏水の原因になります。





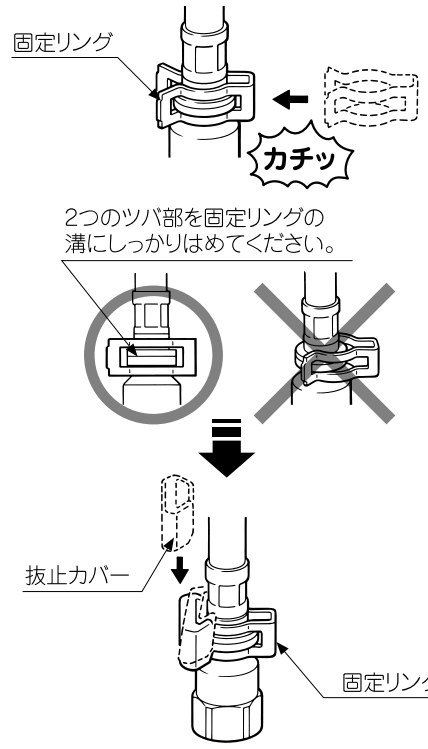
3. 固定リング、抜止カバーを、確実にはめ込む。

注 意

確実にはめ込んでください。
※しっかりはめ込んでいないと、抜止カバーが外れて、漏水や固定リングでケガをする恐れがあります。

確 認

- **給水・給湯ホースを矢印の方向に引っ張っても、抜けないこと。**
- **固定リングを回転させても外れないこと。**



③ 吐水口部の取付け

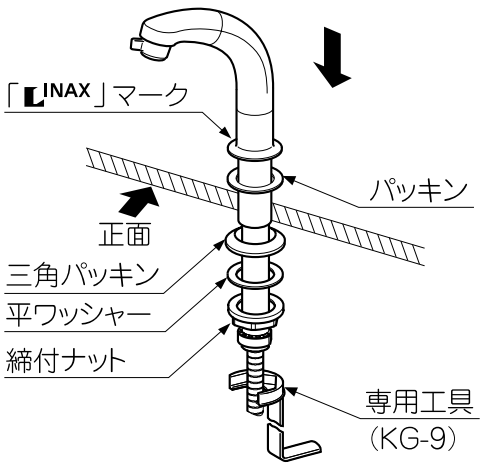
吐水口部を、取付穴の上から挿入し、「 INAX 」マークが正面になるように取り付ける。

ポイント

別売りの専用工具（KG-9）を使用する。

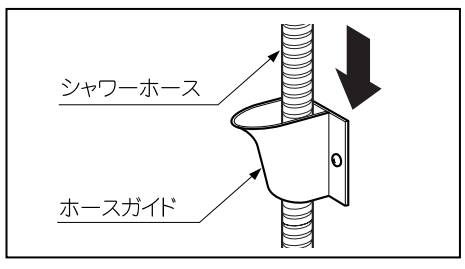
注 意

締付ナットは、本体のガタつきのないようにしっかりと締め付けてください。
※ガタつきがあると、漏水の原因となります。

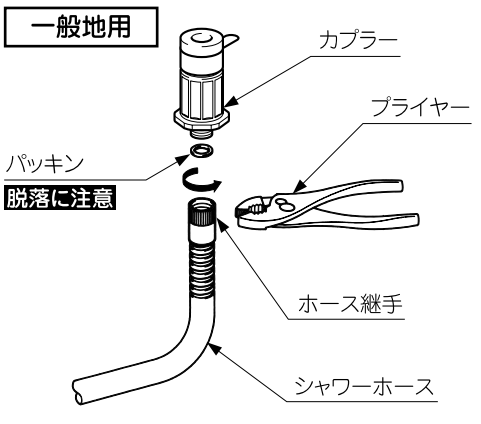


④ シャワーホースとカプラーの接続

1. 化粧台にホースガイドが付属の場合は、シャワーホースをホースガイドに通します。

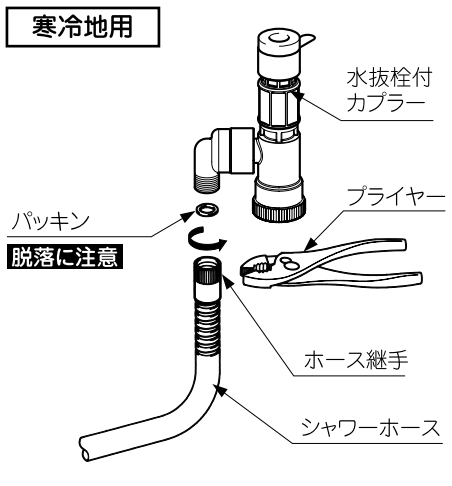


2. シャワーホースの保護キャップもしくはビニール袋を外し、カプラーをシャワーホースと接続する。



注 意

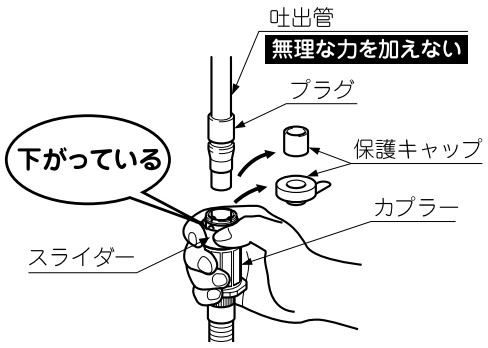
ホース継手内にパッキンが入っていることを確認してください。
※入っていないと、漏水の原因となります。



ポイント

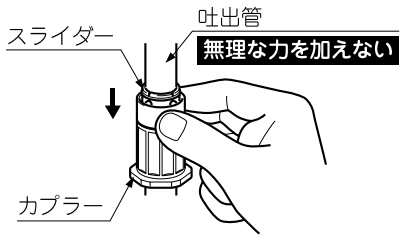
プライヤー等でしっかりと固定する。

3. カプラーのスライダーが下がっていることを確認して、プラグを挿入する。



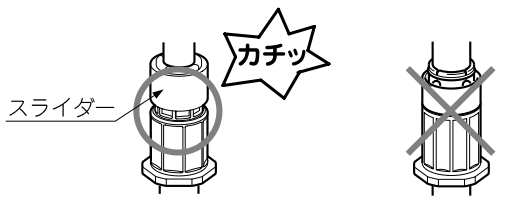
ポイント

取り外す場合は、スライダーを下にずらしながら、カプラーを下げる。



注　意

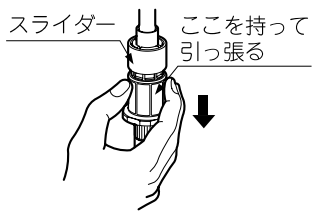
●カチッと音がするまでしっかりと差し込んでください。
●スライダーが上がっていることを確認してください。



※正しく取り付けられていないと、漏水の原因となります。

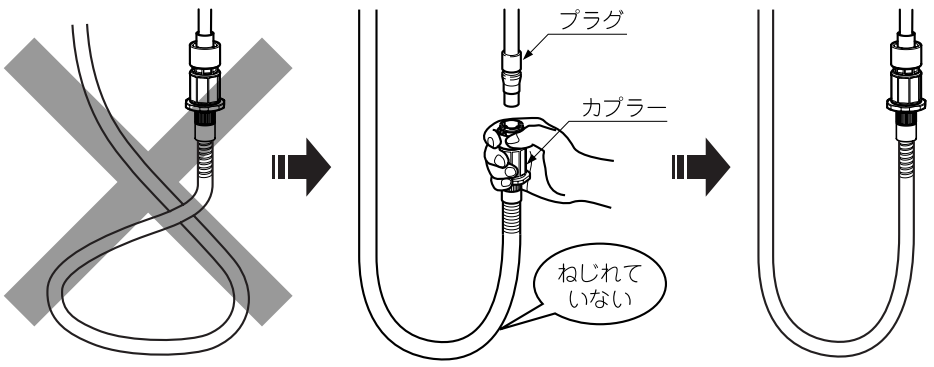
確　認

カプラーのスライダーより下の部分を引っ張って、抜けないこと。



注　意

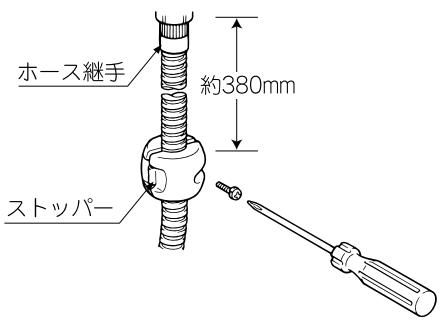
●シャワーホースがねじれないように、接続してください。
ねじれる場合は、プラグからカプラーを取り外し、シャワーホースのねじれを取り除いてから、再度プラグに取り付けてください。



※シャワーホースがねじれていると、シャワーヘッドの引出しが重くなったり、止水栓等に干渉する恐れがありあます。

5 ストッパーの固定

シャワーホースの赤いテープ位置に、ストッパーを固定する。



ポイント

●ハンドシャワーをいっぱいまで引き出したときに、止水栓などが引っ掛かる場合は、ストッパーの位置を調整する。
引出長さの目安は、300～350mm。

6 水受容器の設置

使用中に、ホースを伝わって水が浸入することがありますので、必ず水受容器を設けてください。
※洗面化粧台に水受容器が付属されていない場合は、別途用意してください。

3. 施工後の調節

以下の手順の通り、正しく調節してください。

1 ハンドシャワーの引出確認・調節

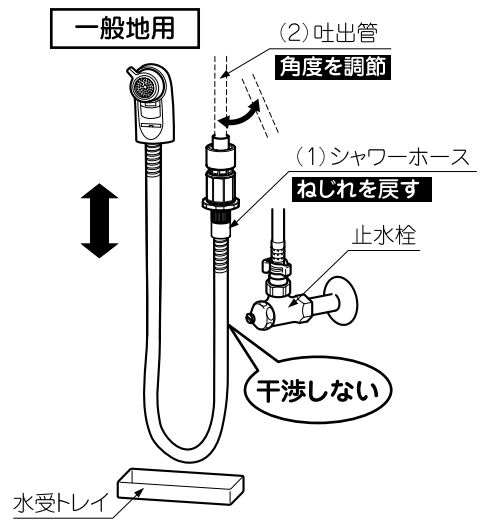
ハンドシャワーを引き出したときの確認・調節を、以下の要領で行ってください。

1. ハンドシャワーを数回出し入れし、シャワーホースが止水栓に干渉しないか確認する。

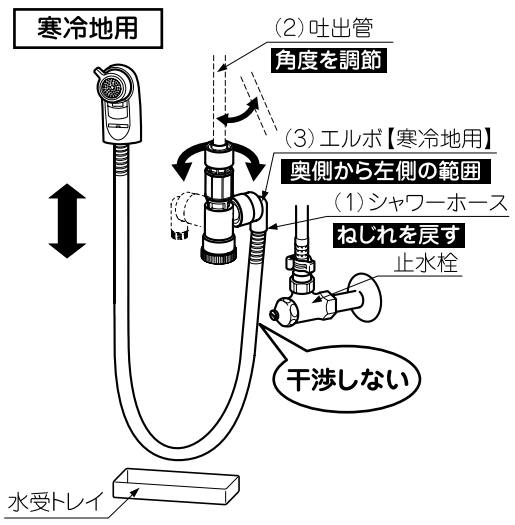
2. 止水栓に干渉する場合は、次のように調節する。
（1）シャワーホースのねじれを戻す。（方法は④シャワーホースとカプラーの接続「3.」の 注意 を参照ください。）
（2）吐出管の角度を調節する。
（3）寒冷地用の場合は、エルボの向きを奥側から左側の範囲にする。

水受トレイの場合

一般地用

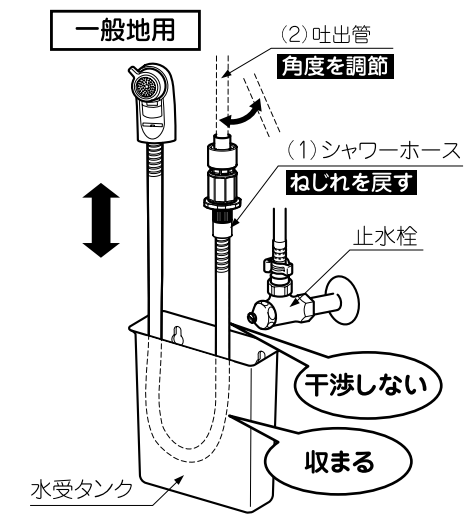


寒冷地用

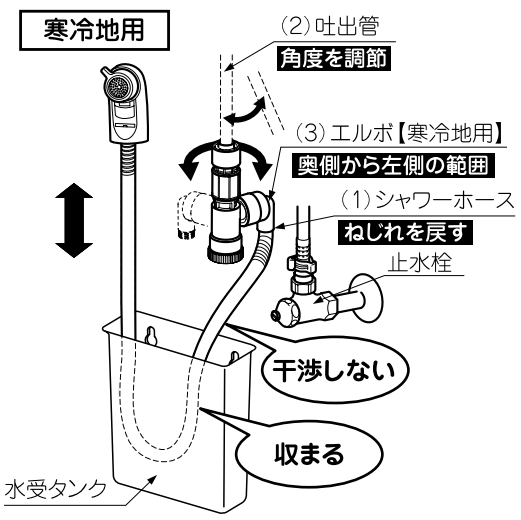


水受タンクの場合

一般地用



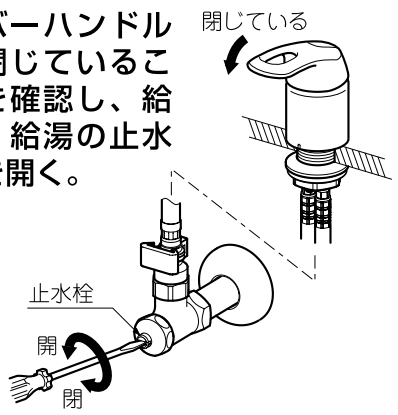
寒冷地用



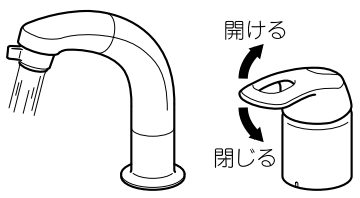
2 通水確認

通水確認を、以下の要領で行ってください。

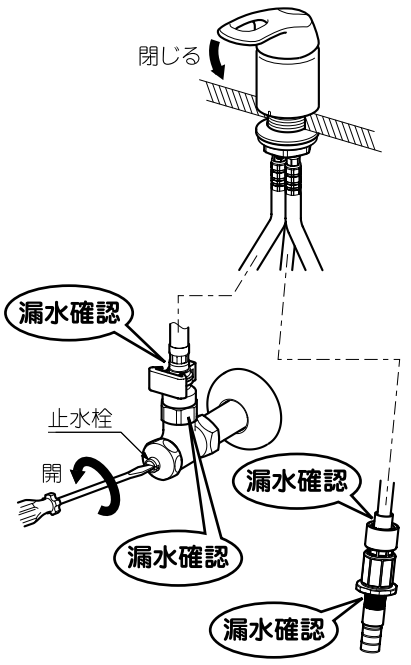
1. レバーハンドルが閉じていることを確認し、給水・給湯の止水栓を開く。



2. 水側・湯側それぞれの位置でレバーハンドルを開け、通水を確認する。



3. レバーハンドルを閉じ、接続部からの漏水がないか確認する。

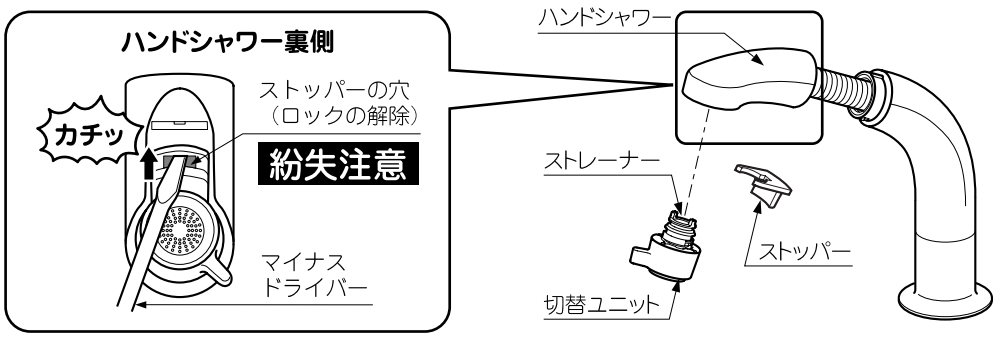


3 ストレーナーの掃除

初期通水後のゴミを取り除くため、切替ユニットのストレーナーの掃除を、以下の要領で行ってください。

1. ストッパーの紛失を防ぐため、排水栓を閉じる。

2. ハンドシャワーの裏側にあるストッパーをスライドさせて、切替ユニットを外す。

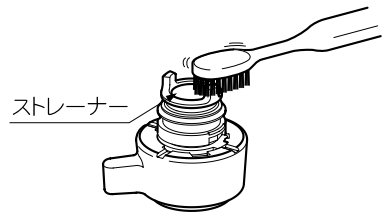


注　意

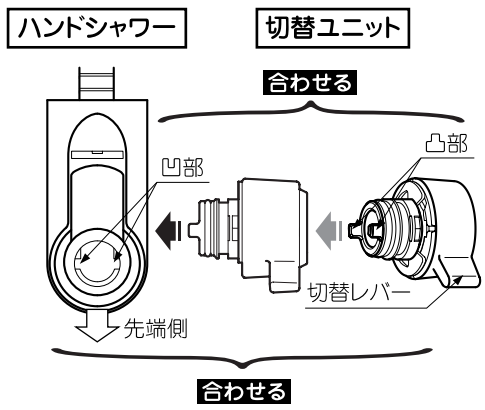
●ストッパーを紛失しないようにしてください。
※紛失すると、切替ユニットを固定できなくなります。

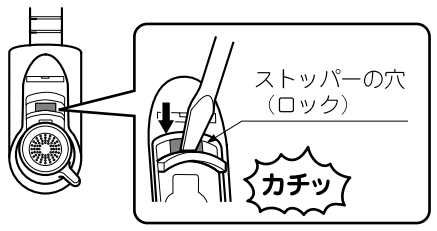
●切替ユニットは回転させず、引き抜いて外してください。
※無理に回転させると、切替ユニットが破損する恐れがあります。

3. 切替ユニットのストレーナーを掃除する。



4. 切替ユニットの向きに注意しながら組み付け、ストッパーをロックする。



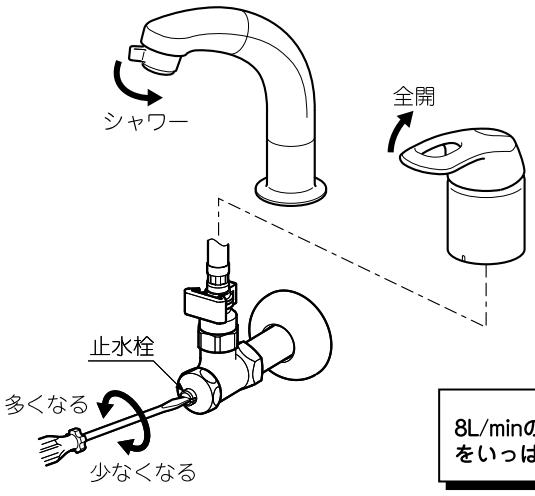


確　認

●切替ユニットが外れないこと。

4 流量の調節

レバーハンドルを全開にしたときに、水側または湯側のシャワーの流量が約8L/minを超える場合は、湯水の流量が同じになるように、止水栓で流量を調節してください。



ポイント

8L/minの目安は、市販の洗面器（容量3L）をいっぱいにするのに約25秒。

4. 引渡し前の確認

お客さまに引き渡す前に、以下のような現象がないか確認してください。
※点検箇所は、下図を参照して下さい。

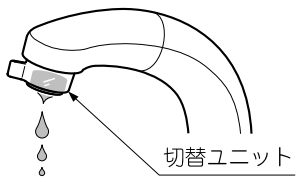
現　象	点　検　内　容	点検箇所	処　　置
流量が少ない	圧力は十分か？	―	「使用条件」の項参照。
	配管途中に大きな抵抗はないか？	―	抵抗となる障害物を取り除く。
	止水栓は十分開いているか？	―	止水栓を十分開く。
	ストレーナーにゴミ詰まりはないか？	①	ゴミ等を水で洗い流す。
水が止まらない	ゴミかみはないか？	②	ゴミ等を水で洗い流す。
	キズはないか？	②	キズがあれば部品を交換する。
	ゆるみはないか？	③	固定ナットで締める。
希望の温度が得られない	圧力は十分か？	―	「使用条件」の項参照。
	流量調整はよいか？	―	「使用条件」の項参照。
	ストレーナーにゴミ詰まりはないか？	①	ゴミ等を水で洗い流す。
湯水の逆流がある	逆止弁は正常か？（ゴミ、砂かみはないか？）（Oリングにキズはないか？）	④	ゴミ等を水で洗い流す。キズがあれば部品を交換する。
レバーハンドルがガタつく	ゆるみはないか？	⑤	ねじをしっかり締める。
水栓がガタつく	ゆるみはないか？	⑥	締付ナットをしっかり締める。

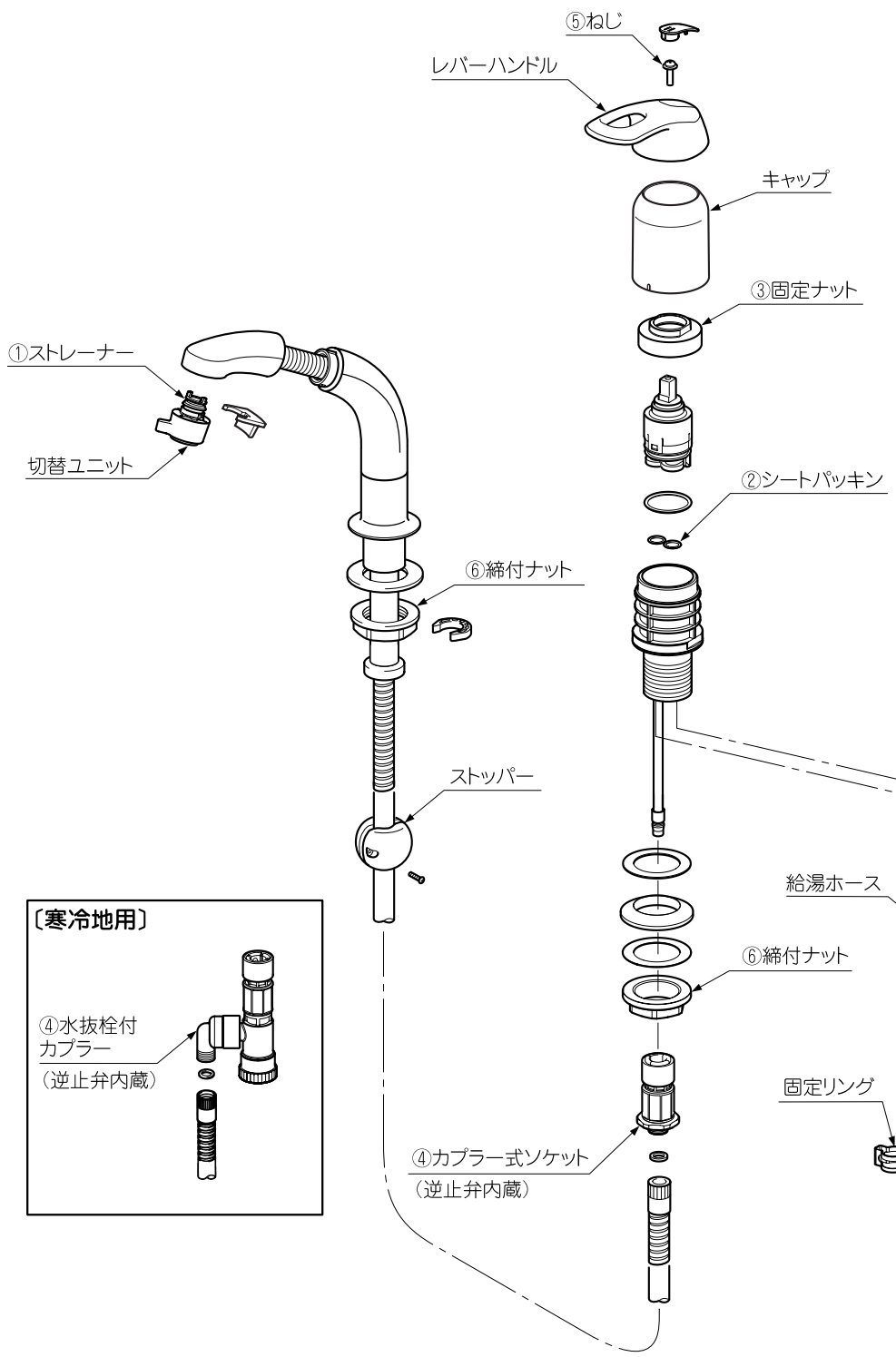
ポイント

故障ではありません。

●この商品は、ウォーターハンマー低減機構を採用しています。レバーハンドルを急に下げると抵抗感が発生し重く感じることがありますが、故障ではありません。

●水を止めた後に少しの間水が垂れますが、切替ユニット内部に溜まった少量の水が排出されるためで、故障ではありません。





〔寒冷地用〕